

やさいレポート (令和5年6月号)



にんじん



発行日：令和5年6月6日

1. 卸売価格の動向

○131 円/kg (6月3日)

➢ 平年比：101%

○6月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○405 円/kg (5月全国平均)

➢ 前月比：98%、平年比：112%

➢ 東京：204 円 (3本)

➢ 大阪：188 円 (3本)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：3/20 (前月 5/20)

➢ 大阪：6/10 (前月 3/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○238g/人 (4月全国平均)

➢ 前月比：104%

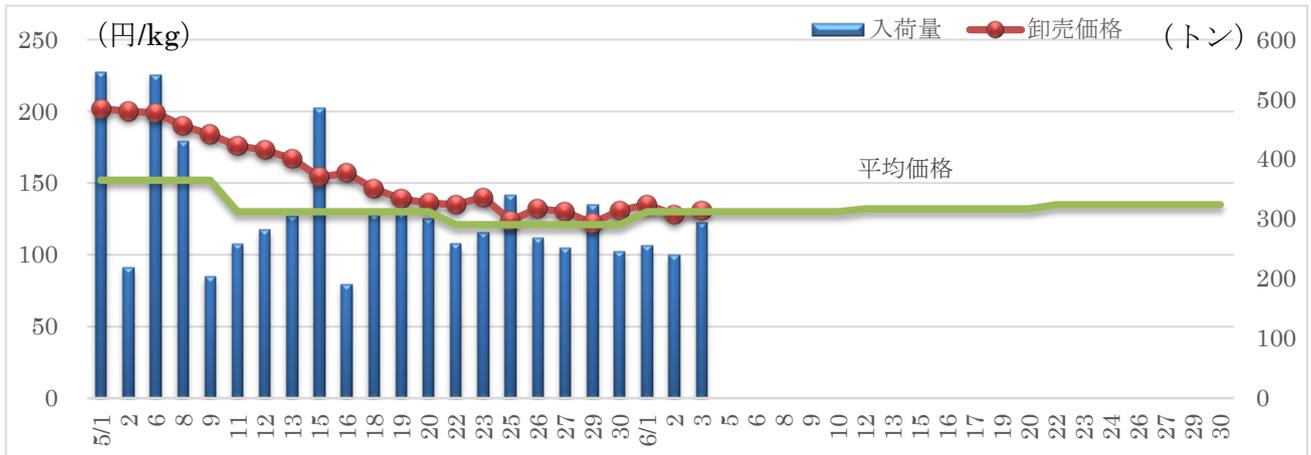
➢ 前年同月比：108%

○2,687g/人 (2022 年年間)

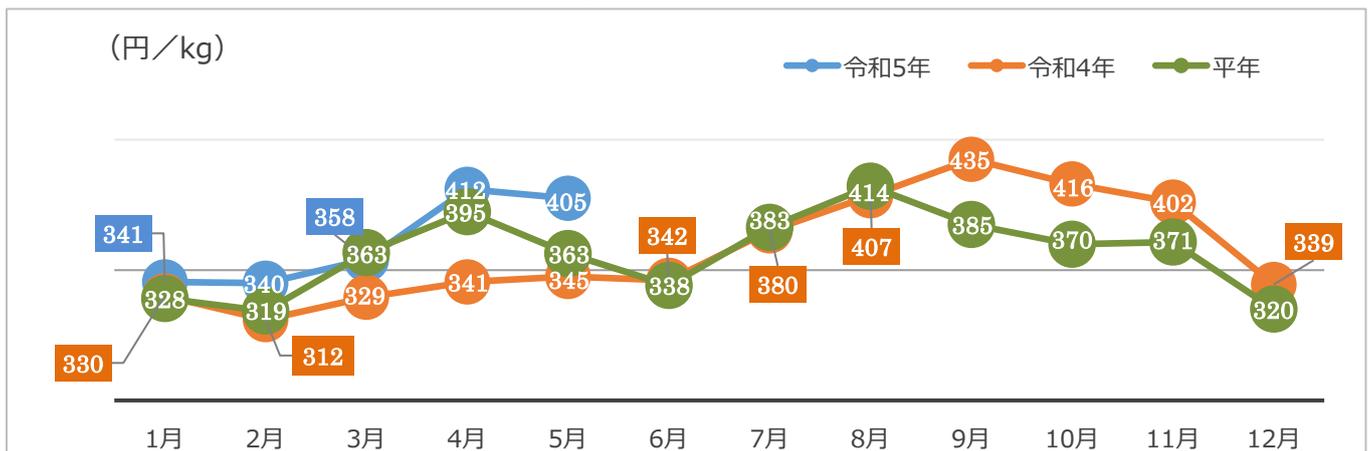
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移 (東京都中央卸売市場)



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ (5/30)	前年並み	平年並み	早い	早い見込み
徳島県吉野川流域 (4/15)	減少	平年並み	遅い	早い見込

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



青森県おいらせ：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (6/03~6/30)

週別の天候				
6/03~6/09	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、前線や溜った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/10~6/16	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。 東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。			
6/17~6/30	全国的に、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低30 並40 高30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

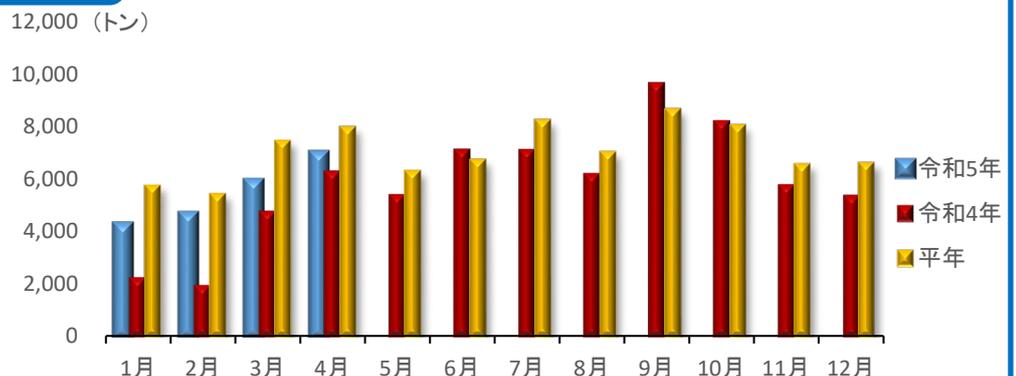
○6,965トン (4月輸入量)

➤ 前年同月比：111%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 6,686トン
- 2位 台湾 169トン
- 3位 オーストラリア 54トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

5月は、終盤の徳島産が周期的に大雨となったことで入荷量が伸びなかったことから、価格は中旬まで前年を上回りましたが、下旬に入ってから需要が伸び悩んだことから、平年並みに落ち着きました。

6月は、生育が前進している千葉産などの関東産が入荷最盛期から終盤になる中、後続の青森産などの入荷量が徐々に増加してくるから、価格は平年並みの見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793